

登録コード	HS530300	開講年度	2026				
授業題目	植物資源育苗学特論					担当教員	松島 憲一 他
英文授業名	Plant Breeding and Resources Science					副担当	根本 和洋
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HSⅴ, 2025HSⅴ, 2024HSⅴ, 2023HSⅴ						
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	植物遺伝育種学に関する専門的な深い知識を習得している。
	【専攻】理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	植物遺伝育種学に関する専門的な深い知識を習得している。
	【専攻】理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	植物遺伝育種学に関する専門的な深い知識を習得している。
(2)詳細/Detailed information	トウガラシ、ソバ、カブ、アマランサスなどをはじめとした様々な栽培植物の遺伝・育種分野の学術論文、専門書または教科書（英文、和文を問わない）などから最新の研究手法とそれによる研究成果について学び、さらにその手法について受講者自身の研究に応用することができるようになり、新しい研究成果に繋げる知見を得ることが目的である。。						
(3)授業の概要/Overview of course	トウガラシ、ソバ、カブ、アマランサスなど栽培植物の遺伝・育種に関する幅広い知識と専門領域の最新知識を習得するために、最新の学術論文や専門書を中心に紹介・解説する。また、必要に応じて遺伝資源探索等の現地調査を行う。						
(4)授業計画/Course plan	1. 学習計画の作成 2. 研究計画の作成 3. 文献検索 4. 文献読解① 5. プレゼンテーション・ディスカッション① 6. 文献読解② 7. プレゼンテーション・ディスカッション② 8. 文献読解③ 9. プレゼンテーション③ 10. 文献読解④ 11. プレゼンテーション・ディスカッション④ 12. 文献読解⑤ 13. プレゼンテーション・ディスカッション⑤ 14. 総合討論Ⅰ 15. 総合討論Ⅱ						
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	学習への取り組みの様子、発表内容と技術の研究への応用等を総合して評価します。 そのために、 ①論文および専門書の技術や知識を理解すること、②習得した技術や知識を研究に活かすこと、③関連論文等の幅広い分野の技術や知識を習得し研究に活かすこと、をもって評価します。基準は（５）に示すとおりです。						
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	秀： 授業の達成目標水準から見て卓越している （関連論文からの技術知識を含めて各自の研究に活かすことができる） 優： 授業の達成目標水準よりかなり上にある （取得した技術知識を確実の研究に活かすことができる） 良： 授業の達成目標水準よりやや上にある （習得した技術知識を研究に活かすことができる） 可： 授業の達成目標水準にある （習得した技術知識を理解できる） 不可（D）： 授業の達成目標水準よりやや下にある （文献を読むが技術知識を理解できない） 不可（F）： 授業の達成目標水準にない （文献を正しく読めない）						
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	一つの論文を読むだけでなく、その関連論文を複数読むことでさらに理解が深まるので、各自で関連論文を読むようにしてもらいます。						
(8)履修上の注意/Notes	特になし。学術論文や専門書を読解することはもちろん、実際の植物の観察は基本中の基本となるので、まずは対象となる植物を観察しつつ、最新の技術を習得する姿勢を持ってもらいます。						
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時対応します。						
(10)授業の形式/Course format	基本的に演習形式と講義形式を織り交ぜて実施します。						

【教科書 /Textbook(s)】	指定しませんが、最新の論文を読むようにします。
【参考書 /Reference work(s)】	随時紹介します。